

一般社団法人 日本原子力学会
第 85 回 標準委員会 議事録

1-1 日 時 : 2021 年 9 月 1 日 (水) 13 : 30~17 : 50

1-2 会議方式 : Web 会議

1-3 出席者 (敬称略)

(出席委員) 山本委員長, 中村副委員長, 成宮幹事, 井口, 石川, 牛尾, 尾崎, 小澤, 金子, 木倉, 酒井, 高田 (審議案件途中退席), 高橋, 竹山, 田中, 中井, 中村 (雅), 松井, 三宅, 椋木, 山口, 吉原 (22 名)

(代理委員) 鬼沢邦雄 (システム安全専門部会副部会長/岡本委員) (審議案件途中退席) (1 名)

(欠席委員) 越塚, 関村 (2 名)

(委員候補者) 黒田 理知 (東芝エネルギーシステムズ) (1 名)

(フェロー委員) 宮野 (1 名)

(常時参加者) 鈴木, 佐々木, 椎名 (3 名)

(欠席常時参加者) 藤澤 (1 名)

(オブザーバー) 田村 明男 (原子燃料サイクル専門部会幹事), 大谷 司 (電源開発) (2 名)

(説明者) 【リスク専門部会 レベル 2PRA 分科会】成宮副主査, 濱崎幹事, 【システム安全専門部会 PLM 分科会】中川幹事, 松藤委員, 伊藤常時参加者, 【システム安全専門部会 統計的安全評価手法標準分科会】工藤主査, 尾崎幹事, 【原子燃料サイクル専門部会 LLW 廃棄体等製作・管理分科会】梅原幹事, 千々松委員, 関口委員, 【基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会】田中幹事, 工藤委員, 堀川委員, 【システム安全専門部会 炉心燃料分科会】福田委員, 笹川委員, 【原子力安全検討会】成宮幹事, 高田孝委員, 【システム安全専門部会 長期運転体系検討タスク】中川幹事, 伊藤・倉本常時参加者, 【システム安全専門部会 水化学管理分科会】梅原幹事, 【リスク専門部会 レベル 3PRA 分科会】高橋主査, 津崎副主査, 木村幹事, 【技術評価対応者】大畑 (LLW 放射能評価分科会幹事), 【システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会】倉本幹事, 【標準活動基本戦略タスク】成宮主査, 三宅委員 (延べ 28 名)

(事務局) 田老, 牧野, 正岡 (3 名)

1-4 配布資料 :

SC85-0 第 85 回標準委員会議事次第 (案)

SC85-1 第 84 回標準委員会議事録 (案)

SC85-2-01 標準委員会委員長の選出の結果について

SC85-2-02 人事について (標準委員会)

SC85-2-03 人事について (専門部会)

SC85-2-04 標準活動基本戦略タスク委員名簿

SC85-3-01-1 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準 (レベル 2 PRA 編) 201X” 標準 (地震への拡張) の発行について

SC85-3-01-2 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準 (レベル 2 PRA 編) 2021” 標準 (完本)

- SC85-3-02 PLM 実施基準 2021 転載許諾に係る改定案
- SC85-3-03-1 “統計的安全評価の実施基準：202X” 標準制定後の修正について
- SC85-3-03-2 “統計的安全評価の実施基準：202X” 標準制定後の修正に係る新旧対照表
- SC85-3-03-3 “統計的安全評価の実施基準：202X” 改定標準原案
- SC85-3-04 浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法：20XX—ドラム缶形態編—に関する公衆審査の結果について
- SC85-3-05-1 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2PRA 編）201X” 津波への適用範囲拡張について
- SC85-3-05-2 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2PRA 編）20XX” 標準原案（完本）
- SC85-3-05-3 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2PRA 編）201X” 別紙-2標準委員会審議の役割，確認すべき事項等の説明
- SC85-3-06-1 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法：20XX—中深度処分編—” 標準改定原案の中間報告に関する意見募集の結果について
- SC85-3-06-2 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法：20XX—中深度処分編—” コメント対応表
- SC85-3-06-3 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法：20XX—中深度処分編—” 改定前後比較表
- SC85-3-06-4 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法：20XX—中深度処分編—” 標準本文改定案
- SC85-3-06-5 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法：20XX—中深度処分編—” 附属書改定案
- SC85-3-06-6 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法：20XX—中深度処分編—” 解説改定案
- SC85-3-06-7 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法：20XX—中深度処分編—” 標準の改定に係る中間報告概要説明資料改定案（参考資料）
- SC85-3-06-8 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法：20XX—中深度処分編—” 標準の改定に係る中間報告 説明資料改訂案（参考資料）
- SC85-3-06-9 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法：20XX—中深度処分編—” 改定案_変更履歴あり（参考資料）
- SC85-3-07-1 “原子力施設の廃止措置の基本安全基準：20XX” 標準委員会での中間報告時の指摘事項とその対応
- SC85-3-07-2 “原子炉施設の廃止措置の基本安全基準：20XX” 修正前後比較表
- SC85-3-07-3 “原子力施設の廃止措置の基本安全原則：20XX” 中間報告時意見対応一覧表（第84回標準委員会指摘事項改訂版）
- SC85-3-07-4 “原子炉施設の廃止措置の基本安全基準：20XX”（案）完本版
- SC85-3-08-1 “実用発電用原子炉施設の廃止措置の計画：20XX” 制定の中間報告に関する標準委員会意見募集で受け付けた意見への対応について
- SC85-3-08-2 “実用発電用原子炉施設の廃止措置の計画：20XX” 制定の中間報告に関する標準委員会意見募集で受け付けた意見への対応表
- SC85-3-08-3 “発電用原子炉施設の廃止措置計画策定基準：20XX”（旧名：“実用発電用原子力施設の廃止措置の計画：20XX”）完本（案）

- SC85-3-09-1 “発電用原子炉施設の廃止措置計画の安全評価基準：20XX”に関する中間報告について
- SC85-3-09-2 “発電用原子炉施設の廃止措置計画の安全評価基準：20XX”（案）完本版
- SC85-3-09-3 “発電用原子炉施設の廃止措置計画の安全評価基準：20XX”別紙-2 標準委員会審議の役割，確認すべき事項等の説明
- SC85-3-10-1 “発電用軽水型原子炉の炉心及び燃料の安全設計に関する報告書”（技術レポート）に関する意見募集結果について
- SC85-3-10-2 “発電用軽水型原子炉の炉心及び燃料の安全設計に関する報告書”（技術レポート）に関する意見募集で受け付けた意見への対応について
- SC85-3-10-3 “発電用軽水型原子炉の炉心及び燃料の安全設計に関する報告書”（技術レポート）改定(案)
- SC85-3-11-1 技術レポート“外的事象に対する原子力安全の基本的考え方”（案）に関する意見募集結果について
- SC85-3-11-2 技術レポート「外的事象に対する原子力安全の基本的考え方」の検討状況について
- SC85-3-11-3 技術レポート「外的事象に対する原子力安全の基本的考え方」 標準委員会中間報告コメント対応案
- SC85-3-11-4 技術レポート「外的事象に対する原子力安全の基本的考え方」文案
- SC85-3-11-5 技術レポート「外的事象に対する原子力安全の基本的考え方」別紙-2標準委員会審議の役割，確認すべき事項等の説明
- SC85-3-12-1 原子力施設の安全な長期運転を支える学会標準等の体系化に関する提言及び長期運転体系検討タスク レポート（案）に関する意見募集結果について
- SC85-3-12-2 原子力施設の安全な長期運転を支える学会標準等の体系化に関する提言及び長期運転体系検討タスク レポート（案）に関する意見対応
- SC85-3-12-3 長期運転体系化タスクの次のフェーズについて
- SC85-3-12-4 長期運転体系検討タスクレポート案
- SC85-3-13-1 “加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法－ほう素同位体比（仮）”の作成について
- SC85-3-13-2 “加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法－ほう素”の改定について
- SC85-3-13-3 “加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法－放射性よう素”の改定について
- SC85-3-13-4 “加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法－溶存水素”の改定について
- SC85-3-14 “原子力発電所の確率論的リスク評価に関する実施基準(レベル3PRA編)：2018”の改定について
- SC85-3-15 L1放射能評価標準の原子力規制庁による技術評価への対応状況について（報告）
- SC85-3-16 “原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019”講習会（2021年度）の結果について
- SC85-3-17 原子力学会 2021 秋の大会標準委員会企画セッション
- SC85-4-1-1 標準委員会の基本戦略にかかる検討について
- SC85-4-1-2 標準委員会の活動方針の改定案（新旧比較）
- SC85-4-1-3 標準活動基本戦略タスク2021年度第2回議事録（案）
- SC85-4-1-4 2021年度-2022年度計画（工程）
- SC85-4-1-5 2021年度第1回標準活動運営委員会議事録（案）
- SC85-4-2 2021年度標準委員会の日程について（案）

- SC85-4-3-1-1 標準委員会審議細則の新旧比較について
- SC85-4-3-1-2 標準委員会審議細則（案）
- SC85-4-3-2-1 標準誤記載ガイドラインの新旧比較について
- SC85-4-3-2-2 標準誤記載ガイドライン（案）
- SC85-4-4 2021年度の倫理教育について

参考資料

- SC84 参考 1 標準委員会委員名簿（案）
- SC84 参考 2 標準委員の出席状況及び投票状況
- SC84 参考 3 標準委員会の活動状況
- SC84 参考 4 専門部会の活動状況

2 議事内容

事務局から、開始時点で委員（フェロー委員含め）26名中、24名の出席があり、委員会成立に必要な定足数（18名以上）を満足している旨の報告があった。

(1) 前回議事録の確認（SC85-1）

事務局から、前回議事録（案）の報告が有り、承認された。

(2) 人事について（SC85-2-01～2-03）

I. 委員長選任、副委員長・幹事指名の確認

事務局から SC85-2-01 に基づき、標準委員会委員長の選出の結果、山本章夫委員が委員長に選任された旨の報告があった。

また山本委員長から、副委員長に中村委員、幹事に成宮委員を指名する旨の報告があり、関村前委員長は引き続き標準委員会委員として活動していただける旨の報告があった。

II. 事務局から SC85-2-02, 2-03 に基づき、標準委員会、専門部会の人事について以下の提案及び報告があった。

a. 標準委員会

①理事会による委員選任承認の確認

高橋 邦明	日本原子力研究開発機構	2021. 6. 18 理事会承認
田中 裕治	日本原燃	2021. 6. 18 理事会承認

②理事会での委員長選任承認の確認

山本 章夫	名古屋大学	2021. 8. 26 理事会承認
-------	-------	-------------------

③委員退任の確認

伊藤 裕之	原子力安全推進協会	2021. 06. 03
-------	-----------	--------------

④委員選任の決議

黒田 理知	東芝エネルギーシステムズ
-------	--------------

⑤委員再任の決議

中井 良大	日本原子力研究開発機構	2021. 12～2023. 11
松井 哲也	日立 GE ニュークリア・エナジー	2021. 12～2023. 11

⑥所属変更確認

高田 孝 日本原子力研究開発機構 → 東京大学 2021. 7. 1

⑦委員長退任の確認

関村 直人 東京大学

⑧副委員長指名の確認

中村 武彦 日本原子力研究開発機構

⑨幹事指名の確認

成宮 祥介 原子力安全推進協会

理事会による委員の選任承認，及び委員長選任承認が確認された旨の報告があった。
また審議の結果，委員の選任，再任が決議され，副委員長と幹事の指名等が確認された。

b. リスク専門部会

①委員退任確認の確認

五十嵐 祐介 日本原子力発電 2021. 06. 30

佐々木 泰裕 関西電力 2021. 06. 30

②常時参加者登録解除確認の確認

砂田 英行 電力中央研究所 2021. 06. 30

藤崎 恭史 関西電力 2021. 06. 30

③委員選任決議の承認（決議）

国政 武史 関西電力

山中 勝 日本原子力発電

④委員再任決議の承認（決議）

佐藤 親宏 テプコシステムズ 2021. 11～2023. 10

委員退任確認等が確認され，審議の結果，委員選任・委員再任決議の承認が決議された。

c. システム安全専門部会

変更なし

d. 基盤応用・廃炉技術専門部会

①委員退任確認の確認

野依 哲生 関西電力

②委員選任決議の承認（決議）

明神 功記 関西電力

委員退任確認が確認され，審議の結果，委員選任決議の承認が決議された。

e. 原子燃料サイクル専門部会

①委員退任確認の確認

武田 聖司 日本原子力研究開発機構 2021. 05. 31

②委員選任決議の承認（決議）

飯田 芳久 日本原子力研究開発機構

③委員再任決議の承認（決議）

白井 茂明 リサイクル燃料貯蔵 2021. 12～2023. 11

委員退任確が確認され、審議の結果、委員選任・委員再任決議の承認が決議された。

Ⅲ. 標準活動基本戦略タスクの人事

事務局から SC85-2-04 に基づき、標準活動基本戦略タスクの人事について報告があった。

3 審議事項

(1) 【報告・審議】 (SC85-3-01-1, 3-01-2)

“原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2 PRA 編）2021” 地震への適用範囲拡張版の転載許諾について

（担当：リスク専門部会 レベル2PRA 分科会 成宮副主査，濱崎幹事）

リスク専門部会 レベル2PRA 分科会 成宮副主査，濱崎幹事から SC85-3-01, 3-02 に基づき、題記標準の地震拡張版について、引用図表の転載許諾結果と出典記載変更について報告があり、審議の結果、本修正内容で再制定・発行することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C：今回の修正は，編集上の修正の範囲内と判断される。

(2) 【報告・審議】 (SC85-3-02)

“原子力発電所の高経年化対策実施基準：2021” 標準制定後の修正について

（担当：システム安全専門部会 PLM 分科会 中川幹事，松藤委員，伊藤常時参加者）

システム安全専門部会 PLM 分科会 中川幹事から SC85-3-02 に基づき、題記標準制定後の修正について報告があり、審議の結果、編集上の修正であり、本修正内容で再制定・発行することが決議された。

(3) 【報告・審議】 (SC85-3-03-1～3-03-3)

“統計的安全評価の実施基準：202X” 標準制定後の修正について

（担当：システム安全専門部会 統計的安全評価手法標準分科会 工藤主査，尾崎幹事）

システム安全専門部会 統計的安全評価手法標準分科会 工藤主査，尾崎幹事から SC85-3-03-1～3-03-3 に基づき、題記標準制定後の修正について報告があり、審議の結果、修正内容はどれも編集上の修正であり、修正後の内容で再制定・発行することが決議された。

(4) 【報告】 (SC85-3-04)

“浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法—ドラム缶形態編—” 標準原案に関する公衆審査結果について

（担当：事務局）

事務局から SC85-3-04 に基づき、題記標準改定原案の公衆審査の結果、1 名の方からご意見があった旨の報告があり、ご意見への対応については次回以降に報告することが指示された。

(5) 【報告・審議】 (SC85-3-05-1～3-05-3)

“原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2 PRA 編）201X” 津波への適用範囲拡張の標準原案に関する本報告について

（担当：リスク専門部会 レベル2PRA 分科会 成宮副主査，濱崎幹事）

リスク専門部会 レベル2PRA 分科会 濱崎幹事から SC85-3-05-1～3-05-3 に基づき、題記標準原案に関する本報告について報告があり、審議の結果、30 日間の決議投票を行うことが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：CV ベントの位置づけは？

A：標準では目的に依るとした。SA 策としての有効性を見る場合は、CFF には含めず、放射性物質放出の影響を見る場合は CFF に含める。

(6) 【報告】 (SC85-3-06-1～3-06-9)

“低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法：20XX－中深度処分編－”標準原案の中間報告に関する意見募集結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，原子燃料サイクル専門部会 LLW廃棄体等製作・管理分科会 梅原幹事，千々松委員，関口委員)

事務局から SC85-3-06-1 に基づき，題記標準原案の中間報告に関する意見募集の結果，4 名の委員から意見があった旨の報告があった。引き続き原子燃料サイクル専門部会 LLW 廃棄体等製作・管理分科会 梅原幹事，千々松委員，関口委員から SC85-3-06-2～3-06-9 に基づき，意見募集で受け付けた意見への対応について報告があり，本報告への準備を進めることになった。

(7) 【報告】 (SC85-3-07-1～3-07-4)

“原子力施設の廃止措置の基本安全基準：20XX” 中間報告に関する標準委員会意見募集結果報告時の意見対応について

(担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事，堀川委員)

基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事，堀川委員から SC85-3-07-1～3-07-4 に基づき，題記標準の中間報告に関する標準委員会意見募集結果報告時の意見対応について報告があり，本報告への準備を進めることになった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：説明用pptについて基本安全原則が残っているが基本安全基準で良いか。

A：はい，その通り。修正漏れは本報告までに修正する。

Q：廃止措置の目的が「廃止措置を終了すること」との表現はわかりにくい。

A：分科会に持ち帰り，再度検討する。

Q：「安全で合理的なレベル」とあるが，判断基準は2種類あるのか。

A：ALARA精神を示している。

C：コメント回答は了解した。原子力安全検討会への説明に関しては標準制定のプロセスではないと理解している。

Q：「廃止措置計画策定基準」は他標準名称に合わせ，「廃止措置の計画策定基準」にした方がよい。

A：分科会で協議する。

(8) 【報告】 (SC85-3-08-1～3-08-3)

“実用発電用原子炉施設の廃止措置の計画：20XX” 制定の中間報告に関する標準委員会意見募集結果報告時の意見対応について

(担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事，堀川委員)

基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事，堀川委員から SC85-3-08-1～3-08-3 に基づき，題記標準制定の中間報告に関する標準委員会意見募集結果報告時の意見対応について報告があり，本報告への準備を進めることになった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：「計画段階で工事件名の記載を求めているのは現実的でない」とのコメントに関して，どのレベルの工事までを対象とするのかで，件名の記載が現実的か否かが変わってくる。注記などで説明を加えたらどうか。

A：分科会に持ち帰り検討する。

Q：中間報告から2年を経過した理由は？

A: コロナ禍の影響及び基本安全基準の審議経過に合わせたことによる。

C: コメントの回答は了解した。

Q: 発電用原子炉施設等となっているが、等は何を指すのか。新しい分類では、発電用原子炉施設＝実用発電用原子炉施設と研究段階にある発電用の原子炉施設である。

A: タイトル、文章を再確認する。

C: 終了確認についても記載した方が良い。

A: 終了確認は別途整備予定である。

(9) 【報告・審議】 (SC85-3-09-1～3-09-3)

“発電用原子炉施設の廃止措置計画の安全評価基準：20XX”に関する中間報告について

(担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事，工藤委員，堀川委員)

基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事，工藤委員，堀川委員から SC85-3-09-1～3-09-3 に基づき，題記標準制定の中間報告に関する標準委員会意見募集結果報告時の意見対応について報告があり，審議の結果，30 日間の意見募集を行うことが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q: 標準タイトルが「廃止措置計画の安全評価基準」とあるが，廃止措置計画をチェックする基準に誤解される可能性があるため，「廃止措置計画における安全評価基準」とした方が良い。

A: 専門部会でもコメントいただいたので，分科会で再度協議する。

(10) 【報告・審議】 (SC85-3-10-1～3-10-3)

“発電用軽水型原子炉の炉心及び燃料の安全設計に関する報告書”（技術レポート）改定の最終報告に関する標準委員会意見募集結果及び受け付けたご意見への対応について

(担当：事務局，システム安全専門部会 炉心燃料分科会 阿部主査，福田委員，笹川委員)

事務局から SC85-3-10-1 に基づき，題記技術レポート改定の最終報告に関する標準委員会意見募集の結果，1 名の委員から意見があった旨の報告があった。引き続きシステム安全専門部会 炉心燃料分科会 福田委員，笹川委員から SC85-3-10-2～3-10-3 に基づき，意見募集で受け付けた意見への対応について報告があり，意見への対応について了解されるとともに，審議の結果，レポートへの意見の反映内容はいずれも編集上の修正であり，本提案内容で制定・発行することが決議された。

(11) 【報告・審議】 (SC85-3-11-1～3-11-5)

技術レポート“外的事象に対する原子力安全の基本的考え方”（案）の中間報告に関する標準委員会意見募集結果及び受け付けたご意見への対応について

(担当：事務局，原子力安全検討会 成宮幹事，高田孝委員)

事務局から SC85-3-11-1 に基づき，題記技術レポート中間報告に関する標準委員会意見募集の結果，4 名の委員から意見があった旨の報告があった。引き続き原子力安全検討会 成宮幹事，高田孝委員から SC85-3-11-2～3-11-5 に基づき，意見募集で受け付けた意見への対応について報告があり，審議の結果，30 日間の意見募集を行うことが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C: 広域災害の脅威が差し迫ってきている状況でのタイムリーなリスク低減策の判断プロセスを予め定めておくべきと要求してはどうか。

A: カタストロフィックな状況の前段のマネジメントとして検討する。

(12) 【報告】 (SC85-3-12-1～3-12-4)

原子力施設の安全な長期運転を支える学会標準等の体系化に関する提言及び長期運転体系検討タスク レポート（案）に関する意見募集結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：システム安全専門部会 長期運転体系検討タスク 村上主査, 中川幹事, 伊藤・倉本常時参加者)

事務局から SC85-3-12-1 に基づき, 題記技術レポートに関する標準委員会意見募集の結果, 2名の委員から意見があった旨の報告があった。引き続きシステム安全専門部会 長期運転体系検討タスク 中川幹事, 伊藤・倉本常時参加者から SC85-3-12-2~3-12-4 に基づき, 意見募集で受け付けた意見への対応について報告があり, 審議の結果, 次フェーズで, 長期運転に関する意思決定を安全と経済性の両面から分析するため, ROP, MR, LR等の規制制度に加えて, NEIのSNPMの枠組みの下での施設管理等 (AP913, AP940等)も視野に入れた調査を行い, 長期運転の実現に必要な標準類の国内体系を整理し, 技術レポートを作成する方針で準備を進めることになった。

主な質疑, コメント等は以下のとおり。

C: 電気協会との協業はよい取り組みであるため進めていってほしい。

Q: 機械学会との関係は?

A: 規格類協議会の場で情報共有はできている。協業の必要性が出てきたら, 規格類協議会を通じて改めて協力をお願いする。

Q: 高経年化の分野では原子力学会のPLM基準, 他学協会の規格類が住み分けはできているが, 不十分なところもある。統合すると規制側, 被規制側ともに有益であると思うが, なぜそのような方向に進まないのか。

A: 問題意識はあったが実態としてできていなかった部分があり, 改善が必要。今後は重点的に取り組んでいく。

A: 規格類協議会の規格高度化WGで一旦はまとめている。連携, 統合, 協働は基本戦略と係わり, 全体を俯瞰する役割を規格類協議会が担う必要がある。

(13) 【報告】 (SC85-3-13-1~3-13-4)

PWR水化学分析標準の新規制定及び改定について

(担当：システム安全専門部会 水化学管理分科会 梅原幹事)

システム安全専門部会 水化学管理分科会 梅原幹事から SC85-3-13-1~3-13-4 に基づき, 題記新規標準の改定について報告があり, B-10 同位体比に関する新規制定, 溶存水素, 放射性よう素, 及びほう素に関する標準の改定を進めることになった。

(14) 【報告】 (SC85-3-14)

“原子力発電所の確率論的リスク評価に関する実施基準(レベル3PRA編):2018”の改定について

(担当：リスク専門部会 レベル3PRA分科会 高橋主査, 津崎副主査, 木村幹事)

リスク専門部会 レベル3PRA分科会 高橋主査, 津崎副主査, 木村幹事から SC85-3-14 に基づき, 題記標準の改定について報告があり, 前回標準の発行後に公開された文献等及び国内外の動向を調査し, 実施基準への反映事項について検討するとともに, 実施基準の階層化についても検討することで進めることになった。

主な質疑, コメント等は以下のとおり。

C: 新知見の取り入れに留意して進めること。

(15) 【報告】 (SC85-3-15)

L1放射能評価標準の原子力規制庁による技術評価への対応状況について

(担当：事務局, 技術評価対応者 大畑(LLW放射能評価分科会幹事))

技術評価対応者 大畑(LLW放射能評価分科会幹事)から SC85-3-15 に基づき, 題記対応状況について報告があった。

主な質疑, コメント等は以下のとおり。

C: 重要な案件であり, 学会としても人材を投入して対応している。引き続き, しっかりと対応してほしい。(山本委員長)

(16) 【報告】 (SC85-3-16)

“原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019” 講習会 (2021年度) の結果について

(担当：システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会 倉本幹事)

システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会 倉本幹事から SC85-3-16 に基づき、題記講習会の結果について報告があった。

(17) 【報告】 (SC85-3-17)

原子力学会2021秋の大会標準委員会企画セッション

(担当：標準活動基本戦略タスク 成宮主査)

標準活動基本戦略タスク 成宮主査から SC85-3-17 に基づき、題記について説明があった。

4 標準活動基本戦略タスクの活動

(4-1) 【報告】 (SC85-4-1-1～4-1-5)

標準活動基本戦略タスクの報告と論点

(担当：標準活動基本戦略タスク 成宮主査)

標準活動基本戦略タスク 成宮主査から SC85-4-1-1～4-1-5 に基づき、標準委員会の基本戦略にかかる検討、活動方針の改定案、2021 年度第 2 回議事録の確認、2021 年度-2022 年度計画 (工程)、2021 年度第 1 回標準活動運営委員会議事録について報告があった。

(4-2) 【報告】 (SC85-4-2)

2021 年度標準委員会の日程について

(担当：事務局)

事務局が SC85-4-2 に基づき、2021 年度標準委員会の日程について提案があり、暫定的に次回開催日を 12 月 9 日 (木) 午後開催として決定した。また会議形式については、今後の状況を見て検討することになった。

(4-3) 【審議】 (SC85-3-1～3-2)

標準委員会審議細則、標準誤記載対応ガイドラインの改定について

(担当：事務局)

事務局から SC85-3-1～3-2 に基づき、標準委員会審議細則、標準誤記載対応ガイドラインの改定についての報告があり、審議の結果、提案通りに標準委員会審議細則、標準誤記載対応ガイドラインについて改定することが決議された。

(4-4) 【報告】 (SC85-4-4)

倫理教育の実施状況について

(担当：標準活動基本戦略タスク 三宅委員)

標準活動基本戦略タスク 三宅委員から SC85-4-4 に基づき、倫理教育の実施状況について報告があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C：標準委員会では意見交換の時間に制約がある。来年度は工夫が必要。

5 その他 (次回日程等)

- ・次回は 2021 年 12 月 9 日 (木) 午後開催予定。

以 上